

5月の野菜

トウモロコシ



Let's 家庭菜園

営農課 ● 岩本 悠太

特徴

雄しべと雌しべは別々にあり、頂部にあるフサフサとした部分が雄しべ、実についている「ひげ」の部分が雌しべです。それぞれ1つの株にできるため1株で実をつけることができますが、実入りをよくするためある程度の株数をまとめて栽培します。

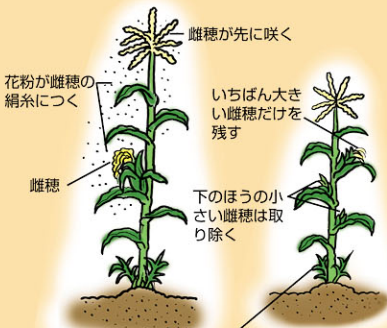
栽培のポイント

- ① 連作もできるが輪作がオススメ
極めて少ないイネ科の野菜なので、連作障害を避けるための畑のローテーション作物に最適です。
- ② 鳥、虫の被害に注意
種まきや収穫時はカラスなどの被害に会いやすいため、トンネルや網をかけて保護すると良いでしょう。また、頂部の雄穂（ゆずい）に虫がつきやすいため、受粉が終わりしだい雄穂は刈り取りましょう。
- ③ 1株1本が基本
種まきから2〜3ヶ月経つと、雌穂（しずい）が3本ほど出ますが、品質の良いトウモロコシを収穫するために、1番上の大きい雌穂1本を残し、他は取り除きましょう。

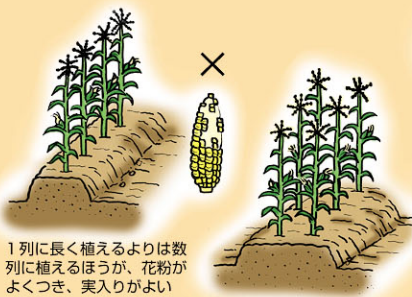
一言メモ

取り除いた小さい雌穂は「ヤングコーン」として利用できるため、サラダや炒め物にすれば無駄なく栽培を楽しめます。

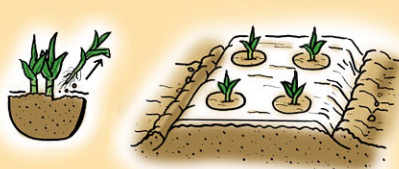
5 雌穂の整理



下のほうから出るわき芽は摘除せず、そのまま伸ばして葉の光合成作用を利用する



3 間引き



4 追肥・土寄せ



成功のポイント
種まきから1ヶ月ほど経過し、下の葉が黄色くなりかけたらマルチを外し追肥してから土寄せをする。

土寄せ

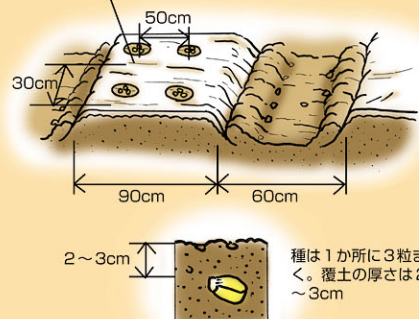
1 畑の準備



早いうちに肥料を畑全体にばらまき、よく耕しておく

2 植えつけ・種まき

ポリフィルムでマルチし、穴をあけてじかまきする。しない場合より約半月育成が早まる



6 収穫



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	(月)
種まき					5	5							
収穫期								8	9				